

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立津山工業高等学校	
実践者等		稲本 陽平	実践日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		土木科・工業技術基礎	
対象生徒(学年等)		土木科1年生	
育成を目指す資質・能力		☒ 知識・技能 ☐ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等	
分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☐ 思考やデータの可視化	
		☐ データの共有や共同編集 ☐ 対話を充実させる活用 ☐ 思考を促す活用	
		☐ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☒ 効率化や省力化	
		☐ その他 ()	
	家庭学習	☐ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☒ 補習・定着	
実践の内容			
【授業】 1 概要説明 関数電卓を用いた計算方法の指導において、特に1年生の40人を指導するとき、使用方法や設定について初めてであることから、一斉に指導ができにくいという課題があった。 本件は、Google Meet の Web 会議機能を活用し、関数電卓を操作する教員の手元を生徒が自分の Chromebook で確認できるようにした取り組みである。  Web カメラ 2 メリット ①教員側の手元が見えるため、<u>ボタン入力とディスプレイ表示を連携して見ることができた。</u> ②簡単な内容であれば生徒の場所に移動する時間が省略でき、その他の指導に時間をかけることができた ③録画し、Classroom に載せることで家庭学習用教材としても使用できる。 ④後部座席の生徒に対しても均一な授業環境を提供できる ⑤前面の黒板が使用できるため、板書による解説等も可能 <u>(別途端末により問題をプロジェクターで提示することも可能)</u>  生徒側画面 3 デメリット ①焦点距離が近いためピントが合いづらい (使用 Web カメラの品質により改善可能)			
【本時と家庭学習との連動】 (本時前) Classroom への参加と各アプリの環境を整備させる。 (本時後) Classroom を通じて課題を提示し、家庭学習を行う。その際に録画した操作方法を生徒に共有しておくことで、操作がわからなくなったときに確認することができる。 (本時ではここまでは実施していない)			